

ThreeBond



2023 ALL JAPAN

SUPER FORMULA CHAMPIONSHIP

RACE REPORT



Round.6

FUJI SPEEDWAY



シーズン後半戦、厳しさを痛感

2023全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ第5大会(第6戦)が、7月15日(土)～16日(日)にかけて4月初頭の開幕大会以来となる静岡県の富士スピードウェイで開催された。6月第4週に富士で開催された合同テストでは必ずしも好感触が得られたわけではなかったため、チームはこれまでのセッティングを大幅に見直し、直近のレースでの状況を参考にセッティングを仕上げてレースウィークを迎えた。

Round.6 公式予選

薄曇りの空の下、公式予選に先だって行われたフリー走行に出走した福住仁嶺選手は徐々にタイムを縮め、セッション前半には上位で周回を重ねた。セッション終了直前、公式予選でのタイムアタックのシミュレーションを行い、トップタイムを記録した選手から0秒556後れの1分23秒033を記録、全体の11番手で走行を終えた。

午後2時20分から10分間行われた公式予選Q1A組に出走した福住選手は、細かい雨が落ちるコンディションの中コースイン。ピットに戻って改めてタイムアタック用のニュータイヤを装着し終了6分前にコースイン、タイヤのウォームアップを始めた。

2週のウォームアップの後タイムアタックに入った福住選手は、出走11台中5番手にあたる1分23秒112を記録。第4戦、第5戦に続いて各組上位6番手までの選手が出走できるQ2セッションへ進出した。

公式予選Q1B組セッションを挟んで午後2時55分から7分間で行われたQ2セッションには、12台が出走した。福住選手は、3番手でコースイン、ウォームアップを行いタイムアタックに入るが、第1コーナー進入時にブレーキミスからホイールをわずかにロックアップさせてしまう。そのままタイムは1分31秒654に終わった。結果福住選手のスターティンググリッドは12番手と決定した。



公式予選結果：

Pos	No	氏名/タイム
1	5	牧野 任祐 /1' 22.063
2	15	リアム・ローソン /1' 22.242
3	6	太田 格之進 /1' 22.331
12	12	福住 仁嶺 /1' 31.654



Round.6 決勝

16日(日)は当初災害級の猛暑が予報されていたが、富士スピードウェイ上空には朝から薄い雲が広がり気温、路面温度とも危惧されたほど上昇することはなかった。朝のウォームアップで決勝レース用のセッティングを試した福住選手のタイムは出走22台中20番手にとどまったため、チームは午後の決勝レーススタートまでにセッティングを見直すことに決め、比較的良い結果を得られた開幕大会でのセッティングをベースにマシンを仕上げなおし決勝レースに備えた。

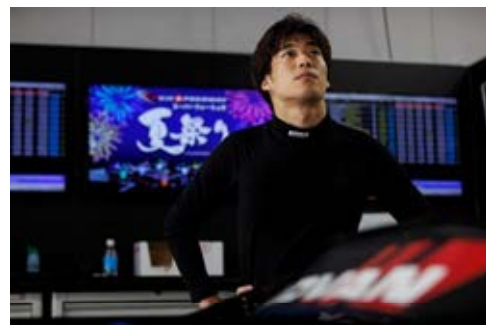
午後2時30分、決勝レースのスタートが切られた。12番手からスタートした福住選手は、オープニングラップのうちに2つポジションを上げたが、2周目にはオーバーテイクを許してしまい、11番手に。オーバーテイクシステムを使って、後方からの追撃を振り切ろうとするが、8周目にはさらに順位を落とし12番手となった。

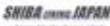
レース中のタイヤ交換義務を消化するためのピットインが可能となる10周を過ぎた12周目、チームは福住選手をピットに呼び寄せタイヤ交換を行ってコースへ送り戻す。しかし、順位は見かけ上18番手、事実上15番手へ低下してしまった。

レース後半、順位を取り戻そうと力走するがペースは上がらず。エンジン出力を増強するためのオーバーテイクシステムもレース前半ポジションを守るために使い果たして、後方からの追上げにさらされ始めた。27周目、事実上のポジションを14番手へ上げたが、レース終盤はオーバーテイクシステムを用いて追いつけてくる後続車を防ぐことができず、34周目に15番手、35周目には17番手へ後退する厳しい展開となった。

40周目に上位車がレースから脱落したため、最終的に福住選手は優勝車から56秒374後れの16位でチェッカーフラッグを受けた。ポイントは、2戦連続で獲得できなかったが、シリーズポイントランキングでは14番手のポジションを守った。

次戦、第6大会(第7戦)は8月19日(土)～20日(日)、栃木県のモビリティリゾートもてぎで開催される予定になっている。





ドライバー 福住 仁嶺 コメント

厳しい週末でした。走り出しのフィーリングは合同テストのときより良くなっているように感じました。予選 Q1 は、自分自身あれ以上の走りはできないと思えるくらいアタックをうまくまとめてギリギリで通ることができましたが、Q2 では僕のミスでもったいないことをしてしまいました。富士は決勝レースのロングランでペースが良ければ追いつかれるサーキットなので、決勝に向けて少しでも良いクルマにしようとチームみんなで頑張りました。でも、スタートした段階でペースが上がらないと感じるような状況でした。今の状況を考えると、クルマの状態にも問題はあると思いますが、ドライバーとしてもこれまでとは異なるアプローチをしなければならぬように感じるので、シリーズ終盤に向けていろいろ考えて頑張ります。



監督 道上 龍 コメント

決勝レース前のウォームアップでフィーリングがあまり良くなかったので、開幕戦で良かったセッティングを参考に少し思い切ったアジャストをしてレースに臨みました。しかし、全体的なペースは、やっぱり良くなりませんでした。予選では安定して Q2 に進出できるようになったのは良いですが、このところレースのペースが良くないのが悩みです。気温がどんどん上がってくるのも関係しているのか、予選と決勝の落差がちょっと大きく感じます。レースの途中までは、なんとか踏ん張れるペースで走れても、終盤にさしかかるとガクッとペースが落ちて抵抗できずに抜かれてしまいます。なんとか解決の糸口を見つけます。



ドライビングアドバイザー 塚越 広大 コメント

今回の富士は、走り出しの雰囲気としては悪くなくて、トップ 5 ぐらいには行けるだろうと思っていました。それで Q1 もしっかり突破してくれました。Q2 は福住選手本人も認めるようにちょっと攻めすぎたところがあって失敗してしまいましたが、そんなに悪くない予選でした。決勝に関しては、富士は割と抜きやすいコースなのでレースペースさえ良ければ前に行けると考えていました。ところがウォームアップで決勝ペースを確かめたらあまり良くなかったので、急遽いろいろとセットを変えて臨むことになりましたが、結局うまく決勝ペースを作れずドライバーには苦しいレースをさせてしまいました。決勝ペースの悪さがこの数戦目立っているの、そこを重点的に解析していかないとはいけません。



チーフエンジニア 伊与木 仁 コメント

涼しいのでレース中、リヤタイヤの内圧はあまり上がらないだろうと思いましたが、レース後にデータを確認すると結果的には上がっていました。内圧が上がると車高が mm 単位で上がるのでダウンフォース量も変わってしまいます。レースのペースが上がらなかった原因はそのあたりにもあるかもしれません。それくらいシビアなクルマなので、対策が足りていなかったと反省しています。ここ 2 レース続けて、レース終盤にペースが落ちる傾向があります。Q1 突破は結構安定的にできるようになりましたが、福住選手の力で突破している感じなので、予選の延長でレースも走れるようなクルマにするよう解析を進めます。



Round.6 レース結果

Pos	No	Driver	Team	Time
1	15	リアム・ローソン	TEAM MUGEN	58' 58.497
2	5	牧野 任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	59' 02.950
3	37	宮田 莉朋	VANTELIN TEAM TOM'S	59' 13.732
4	20	平川 亮	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	59' 17.775
5	65	佐藤 蓮	TCS NAKAJIMA RACING	59' 18.171
6	6	太田 格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	59' 19.278
7	64	山本 尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	59' 19.690
8	1	野尻 智紀	TEAM MUGEN	59' 24.993
9	7	小林 可夢偉	Kids com Team KCMG	59' 30.310
10	39	阪口 晴南	P.MU/CERUMO・INGING	59' 30.927
11	38	坪井 翔	P.MU/CERUMO・INGING	59' 41.759
12	14	大嶋 和也	docomo business ROOKIE	59' 43.603
13	50	松下 信治	B-Max Racing Team	59' 47.279
14	4	小高 一斗	KONDO RACING	59' 48.040
15	18	国本 雄資	Kids com Team KCMG	59' 53.001
16	12	福住 仁嶺	ThreeBond Racing	59' 54.871
17	3	山下 健太	KONDO RACING	59' 56.633
18	55	ジェム・ブリュックバシエ	TGM Grand Prix	1:00' 00.092
19	36	笹原 右京	VANTELIN TEAM TOM'S	1:00' 01.973
20	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	59' 46.294
21	53	大津 弘樹	TGM Grand Prix	56' 35.537



Drivers & Team Ranking

順位	ドライバー	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9
			富士	富士	鈴鹿	AP	SUGO	富士	もてぎ	鈴鹿	鈴鹿
1	宮田 莉朋	86	2+6	2+8	20	15	2+20	11			
2	リアム・ローソン	85	1+20	6	8	2+20	6	2+20			
3	野尻 智紀	61	3+15	3+20	1+0	-	1+15	3			
4	坪井 翔	50	0	15	2+15	3+11	4	0			
5	牧野 任祐	37	0	3	0	5	11	3+15			
6	平川 亮	36	11	0	11	6	0	8			
7	山下 健太	28	0	11	6	8	3	0			
8	佐藤 蓮	17	5	2	0	4	0	6			
9	山本 尚貴	14	8	0	0	2	0	4			
10	小林 可夢偉	12	0	5	0	0	5	2			
⋮											
14	福住 仁嶺	8	0	4	1	3	0	0			

順位	チーム	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9
			富士	富士	鈴鹿	AP	SUGO	富士	もてぎ	鈴鹿	鈴鹿
1	TEAM MUGEN	133	15+20	20+6	0+8	0+20	15+6	3+20			
2	VANTELIN TEAM TOM'S	83	0+6	0+8	3+20	0+15	0+20	0+11			
3	P.MU/CERUMO・INGING	53	0+0	15+1	15+5	11+0	4+1	0+1			
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	39	0+0	3+0	0+0	5+0	11+0	15+5			
5	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	36	0+11	0+0	0+11	0+6	0+0	0+8			
6	KONDO RACING	33	0+1	11+0	6+4	8+0	3+0	0+0			
7	TCS NAKAJIMA RACING	31	8+5	0+2	0+0	2+4	0+0	4+6			
8	Kids com Team KCMG	15	0+0	5+0	0+0	0+1	5+2	2+0			
9	docomo business ROOKIE	10	2	0	0	0	8	0			
10	TGM Grand Prix	9	3+4	0+0	0+2	0+0	0+0	0+0			
11	ThreeBond Racing	8	0	4	1	3	0	0			

